

大田市立久屋小学校 心に残る文化財子ども塾

5月26日(月)には、大田市立久屋小学校に伺いました。6年生12名の参加です。時間は45分。テーマは、『奈良の大仏』の巨大さと、込められた思いで、体験活動としては「奈良の大仏の実物大パネル」を組み立てました。パネルの部品は1辺1m 四方のシート188枚。人数が12名と少ないため、時間が随分と掛かるかと思いきや、そこは抜群のチームワークで15分ほどで完成させました。大仏の姿形についての質問もどんどんあり、興味関心を強く持って学習に取り組んでくれました。いつの日か、本物の奈良の大仏を観に行ってください。



▲ 土台(蓮華座)しかない状態からスタート



▲ 胴体部分まで仕上がりました！あと少し



▲ 完成！思い思いの場所で大きさを体感



▲ 日直さんが筆を持ち、みんなで開眼かいげんです

【学習後の感想】

- ・大仏がすごく大きかったです。大仏の顔や体にも意味がちゃんとあることが分かりました。
- ・質問して、髪のこと(→螺髪)とか、手のこと(→施無畏印・与願印)とかも良く分かりました。
- ・開眼式で大きな筆で目を書くことがあることが分かりました。

大田市立久屋小学校6年生の皆さん、先生方、ありがとうございました。